

令和6年度(2024年度) 第1回八王子市健康医療計画推進会議	
日時	令和6年(2024年)8月2日(金) 午後7時00分～午後8時30分
場所	八王子保健所401会議室
出席者 氏名	委員 (敬称略) 甲斐裕子、鳥羽正浩、五藤篤、新井利男、小井戸浩子、山下恵理子、滝川佐知、鷺尾仁、三好友海、瀧見浩之、浜本千恵、高橋正篤、二瓶祐子 菅野匡彦(健康医療部長)、鷹箸右子(保健所担当部長)
	事務局 中山あずさ(健康医療政策課長)、白石利和(保健総務課長)、丸山茂樹(健康医療政策課)、小竹亜希子(保健総務課)
欠席者氏名(敬称略)	峯尾誠
テーマ	報告 「第3期八王子市健康医療計画」の最終評価について 議事 (1) 「八王子市健康医療計画(令和6～11年度)」の取り組み予定について (2) ライフステージ別(壮年期、中年期)の取り組みについて
傍聴人	なし
配布資料	・八王子市健康医療計画冊子 ・資料1:開催要綱 ・資料2:第3期八王子市健康医療計画体系図 ・資料3:八王子市健康医療計画施策一覧
発言者	内容
事務局	<p>只今より、令和6年度第1回八王子市健康医療計画推進会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、本推進会議は開催要綱にもごございますように、八王子市における健康医療に関して総合的な見地から意見交換を行う場としております。会議は原則、公開となっておりますので、会議録作成のため録音させていただきます。ご了承ください。</p> <p>なお、議事録については議事録案を作成し、皆様に内容の確認を行った後、本市のホームページで公開しております。議事録における委員の発言につきましては、委員の皆様の個人名は記載せず、「委員」と表記させていただきます。</p> <p>また、本日配付しております次第裏面の名簿については、この内容でホームページに公開させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日、傍聴人はおりません。このまま進行いたします。</p> <p>本会議は「八王子市健康医療計画推進会議開催要綱」第5条第2項の規定により、健康医療部長を座長とし実施致します。</p> <p>ここから、会議の進行を座長の菅野健康医療部長にお願いしたいと思います。</p>
1 報告	
「第3期八王子市健康医療計画」の最終評価について	
発言者	内容
座長	<p>それでは、これより私の方で会議を進めさせていただきたいと思っております。まずは報告事項です。「第3期八王子市健康医療計画」の最終評価について事務局から説明をお願いいたします。</p>

<p>事務局</p>	<p>第3期八王子市保健医療計画では、231の事業について、毎年4段階で評価していました。令和5年度最新の状況が資料2の一枚目の資料になります。</p> <p>個別の事業は、毎年PDCAサイクルを通して見直しを行うため、6年前と同様に測ることが難しいということが昨年度の会議でも話題にあがっており、令和5年度C評価だった事業も内容の見直しによるものです。</p> <p>そこで、今回は第3期計画の最終評価ということで、大きく視点1、視点2に分けて、総括評価としました。</p> <p>視点1「いつまでも元気で健康的な生活を送るために」は、たとえば、一番きっかけとなりやすい、お子さんやお孫さんが生まれるタイミングでの禁煙指導や、数値が見えて自分事としやすい、健診結果を踏まえての受診勧奨など、それぞれの機会をとらえて、健康づくりに向けたアプローチができました。これは、引き続き実施していく必要があります。</p> <p>一方で、国民健康保険の保険者として実施している特定健診の受診率や特定保健指導に関してはまだまだ利用率を上げる必要があり、健康に関心がない方も含めた健康づくりのアプローチが必要です。</p> <p>視点2「住み慣れた地域で安心して医療を受けられる」に関しては、かかりつけ医や市内の医療従事者確保など、日常の医療体制については、6年間で着実に進行しております。</p> <p>一方で、高齢者や医療的ケア児の増加に対する在宅医療体制や地域包括ケア、及び最近の全国での災害発生状況や感染症流行に対する緊急時の医療体制については引き続き、充実に向けた取り組みが必要です。</p>
<p>座長</p>	<p>事務局から説明がありました。</p> <p>いくつか補足させていただきます。</p> <p>6年間の総合的な最終評価を行うにあたり、これまでは事業毎に評価を行っていましたが、点の事業になってしまうこと、また、新型コロナウイルス感染症をはじめ、社会情勢も変化していることを踏まえ、取り組みの視点別に評価を行いました。</p> <p>視点1「いつまでも元気で健康的な生活を送るために」では生活習慣病予防や健診関係、また基本目標である「安全な生活を安心して送れる環境づくりの推進」においては、新型コロナウイルス感染症における取り組みもごございます。評価の項目にはなかったかもしれませんが、八王子市の感染症対策は皆様のご協力もあり、大変順調に進めることができました。</p> <p>また、視点2「住み慣れた地域で安心して医療を受けられる」は医療の体制的などところですが、こうした総合力があって新型コロナウイルス感染症に対応することができたと思っております。改めて確認しますと、かかりつけ医を決めている方の割合が増加し、都内で唯一の市立である看護専門学校では毎年40名の生徒を輩出しておりますが、市内就職率が7割と、八王子市の医療のベースになっております。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり数は少ないですが、医療救護所の防災訓練や、直に集まれない分医療機関の方との会議を毎日WEBでさせていただくなど、医療機関の方と連携を図ることができました。</p> <p>補足事項は以上です。事務局からの報告事項について、ご意見、ご質問などございましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>達成困難の取り組みが1つありますが、具体的にはどのような取り組みですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>福祉政策課が実施していた、市内の公衆浴場での健康教室です。公衆浴場利用</p>

	<p>者の方の参加率が低く、利用者のニーズに合っていないことから実施しないこととしたため、達成困難という評価となりました。</p> <p>替わる取り組みとしましては、保健福祉センターで月曜日から金曜日まで実施しているラジオ体操や、保健総務課で養成している八王子市健康づくりサポーターが実施している健康体操などがございます。</p>
委員	<p>公衆浴場の健康教室での指導は健康づくりサポーターが行っていたのでしょうか。</p>
事務局	<p>保健福祉センターの保健師が担っておりました。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスについて、感染者が現在八王子市においても増えています。東京都から感染者が急増した際の対応について各医療機関へ通知があり、本日も各病院、診療所とWeb会議を行いました。</p> <p>コロナ禍であった4年間についても、病院を中心に診療所がサポートする形で乗り切ってまいりました。風邪と同等の5類の取り扱いになりましたが、入院している方も多くいらっしゃいますので、引き続き共有して対応していきたいと思えます。</p> <p>1点お伺いします。かかりつけ医を決めている市民の割合が83.6%と非常に高く感じますが、データはどのように取られたのでしょうか。</p>
事務局	<p>毎年実施している市民意識調査でお伺いしています。対象者の方は無作為抽出です。</p>
座長	<p>質問項目について「かかりつけ医を持っている方」から「かかりつけ医を決めている方」に変更したところ、割合が高くなりました。現在は通院されていなくても、何かあった際に行く医療機関を決められている方が多いのではという印象です。</p>
委員	<p>現在、都道府県単位でかかりつけ医をどうしていくかの議論が進んでおり、かかりつけ医が患者の家庭状況等も加味したうえで相談できる形が望ましいとされています。</p> <p>かかりつけ医を決めている方の割合が増えていくのはよいことだと思います。</p>
委員	<p>医療体制の件でお伺いいたします。</p> <p>小児科で勤務しておりますが、新型コロナウイルス感染症が5類の取り扱いになった今でも予約制の診療所が多く、かかりつけ医に受診ができないため、かかりつけ医以外のところに行かざるを得ず、重症化してしまうケースや救急車での搬送となるケースが増えています。こうした現状は、各小児科にまかせるしかないのでしょうか。</p>
委員	<p>八王子市は小児科の診療所が人口比に対して少ない実情はありますが、都内の他の区市町村では発熱者を診ないという診療所も多い中、八王子市は診療可能な診療所が多くあります。</p> <p>また、小児科に限らず病院でも、立て込んでいる際対応が遅れてしまうケースはあります。心筋梗塞は平日の昼間が一番助かるという論文もあり、タイミング次第という側面はどうしてもあります。</p>
委員	<p>第3期八王子市保健医療計画のなかで、多言語対応可能な医療機関リストの作成についてという取り組みがありますが、八王子市にお住いの外国人の方は日本語も英語も母国語をしない方も多くいらっしゃいます。</p>

<p>事務局</p>	<p>以前、フランスを母国語とする患者の方がいらした際、予防接種や健診について、地区担当の保健師の方が担当部署と調整し、母国語での案内を郵送していただいたという話を伺いましたが、そういった取り組みはあるのでしょうか。</p> <p>外国人の方がいらした際の予防接種や健診の説明について苦慮しているというお話は医師会の方からも伺っております。</p> <p>全ての言語でのパンフレットの作成はしておりませんが、事前にご連絡いただければ、多言語でご説明する準備は可能です。</p> <p>保健医療分野で一括した窓口があるわけではございませんので、予防接種は保健総務課へ、健診は成人健診課へご連絡いただく必要がありますが、現場でお困りの際はお声がけください。</p>
<p>座長</p>	<p>がん検診では、中国語と英語をご用意しております。また、市役所職員の中にも外国語や手話の対応が可能な職員もおりますので、まずは事前にご連絡いただければと思います。</p>
<p>副座長</p>	<p>委員の方から救急車のお話と、多言語についてのお話をいただきました。</p> <p>まずは救急車について、現在新型コロナウイルス感染症に加え、猛暑の影響で熱中症の方が増えており、救急車がひっ迫しております。</p> <p>こうした状況を受け、本日、感染症対策をきっかけに始まりました医療機関とのWEB会議を実施いたしまして、救急車を呼ぶか迷った際の連絡先である東京消防庁救急相談センターの電話番号のご案内や、救急車を利用された方が実際には緊急ではなかった場合、救急車の適正利用について呼びかけていただけるようお願いをいたしました。ほとんどの医療機関にご賛同いただき、これもひとえにコロナの際に培った連携があったからだ実感しております。</p> <p>多言語については、結核に関しては進んでおりまして、東京都で7か国語対応のリーフレットを配布しているほか、他言語に精通した医療通訳を自治体へ派遣する制度があり、実際に派遣していただいて患者さんとの意思疎通に役立てています。</p>

2 議事

- (1) 「八王子市健康医療計画(令和6～11年度)」の取り組み予定について
- (2) ライフステージ別(壮年期、中年期)の取り組みについて

<p>座長</p>	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>(1)「八王子市健康医療計画(令和6～11年度)」の取り組み予定について」及び(2)ライフステージ別の取り組みについて事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度から新たにスタートしている八王子市健康医療計画について昨年度の策定経過も踏まえて、ご説明します。</p> <p>八王子市健康医療計画は国の方針と整合性を図りながら、また市の上位計画である八王子未来デザイン2040に基づき策定しております。</p> <p>さらに八王子市健康医療計画の下位にはがん対策推進計画、国民健康保険データ活用保健事業実施計画、食育推進計画、自殺対策計画があり、高齢者計画・介護保険事業計画などの福祉計画とも整合をとって作成されています。</p> <p>また、評価について、めざすべき姿を達成するために、事業ごとの評価ではなく、その結果として得られる指標で評価していくこととしました。指標は各施策のページに掲載していますが、一覧は計画のP134.135にございます。</p> <p>今回、第3期保健医療計画から変わった主なポイントをいくつかご紹介します。</p> <p>まず、市民自らの行動につながる「自然に健康になれる環境づくり」を推進する姿</p>

	<p>勢を分かりやすく伝えるため、名称を「保健医療計画」から「健康医療計画」に変更いたしました。</p> <p>また、データ活用による個人の特性を重視したアプローチや、健康無関心層の行動変容を促す取り組みについても視点に取り入れました。</p> <p>さらに、ライフステージやライフコースに合わせた健康づくりの推進を意識して、計画の第5章には第4章の施策をライフステージごとに並べ替えて再掲しています。</p> <p>本日は、基本目標1-1のライフステージ別の施策の中で、テーマを絞って、壮年期、中年期の施策について、後程、意見をいただきたいと思っております。</p> <p>ここからは、関連する各計画のデータを交えて、計画開始年である現状の確認をまいります。</p> <p>まず、八王子市健康医療計画において、令和4年度の65歳平均障害期間は前年度と比べて短くなっており、死亡率は高齢化に伴い、国、都含め全体的に増加傾向にあります。</p> <p>医療費については、国民健康保険の方の医療費をみますと、例えば男性のがんの患者数は多いですが、入院、外来合わせた医療費は都の平均と比べて低く、重症化しないで済んでいると考えられます。一方、脳出血や心筋梗塞は東京都と比べて高い傾向がございます。</p> <p>また、これは八王子の特徴ですが、精神科の医療費が男女とも突出して高いことがわかります。</p> <p>75歳以上全体のレセプトですと、ほとんどが都を下回っており、後期高齢者になる前からの予防活動の効果がみえているのかもしれませんが。</p> <p>食育推進計画において、計画策定のために行った市民意識調査では、塩分に気を付けている市民は10代でも半数を超えており、年齢が上がるごとに意識している割合が増えております。</p> <p>がん対策推進計画において、年代別の死因をみると、40代は43.7%が心疾患、脳血管疾患で亡くなっており、働き盛りのがん死亡率は減少傾向がございます。</p> <p>自殺対策計画において、八王子市は自殺死亡率が高い傾向ですが、その中でも40代、50代の死亡数が多い現状です。自殺の原因は一つに特定できるものではありませんが、複数の要因の中で健康問題は多くの方が抱えていた要因でした。</p> <p>高齢者計画・介護保険事業計画においては、この先、2040年まで要介護認定者が増えていくことが予測されています。</p> <p>本来介護保険の年齢でない40～64歳で介護になった方の要介護認定時の疾患を確認すると、脳血管疾患が55%であり、糖尿病関連疾患と併せると約60%が予防することができる生活習慣病により介護状態になったことがわかります。</p> <p>これらを踏まえて、健康医療計画では壮年期、中年期の健康づくりの主な取り組みをスライドのように(計画冊子P129)まとめました。</p> <p>各委員の立場で、この世代への健康アプローチについて、ご意見を伺いたいと思っております。</p>
座長	<p>八王子市全体の健康の計画ということで内容が広範囲にわたるため、ライフステージ別の取り組みに絞り、紹介させていただきました。</p> <p>ご意見、ご質問などございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>第3期八王子市保健医療計画の最終評価を行う中で、順調だった事業のプロセス等を振り返り、新しい計画に反映されている部分などはありますか。</p>
事務局	<p>国民健康保険加入者の方のデータのみにはなりますが、血圧と脂質について、5</p>

	<p>年前と比べ正常値の方が増えております。これは成人健診課で実施している受診勧奨通知や、保健福祉センター等で実施している健康指導の取り組みの成果だと考えております。</p>
委員	<p>議事について、壮年期、中年期をピックアップした理由はありますか。</p>
事務局	<p>保健福祉センター等、市の健康づくりを担う部署では働き盛りの方へのアプローチが難しいという課題があるためです。</p>
委員	<p>国保のデータからは読み取れないと思うので、協会けんぽの加入者の方の健康状態等の実態把握をされたらよいと思います。計画について、環境づくりにフォーカスされている点は素晴らしいと思います。</p>
委員	<p>議論を具体的にどのように進めたらよいでしょうか。各項目について、良し悪しを論じればよいのでしょうか。</p>
座長	<p>例えば、取り組みの1つに運動習慣の普及啓発がありますが、健康づくりサポーターとして活動されているお立場から、現在行っている取り組みに対する改善案や、新たに開催したほうがよい教室等のご意見をいただければと思います。</p> <p>また、本計画はまちづくりの部署や八王子ビジョン2040の考え方も取り入れ、自然と健康になれるまちづくりを目指しています。</p>
委員	<p>社会保険に入っている方は保険団体における取り組みがあるが、自営業の方については各項目に関して、市はどのように取り組んでいらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>以前の計画では、事業を決めて事業毎に評価していましたが、ニーズは時代とともに変化するため今回の計画ではあえて事業を掲載していません。</p> <p>そのため、それぞれの項目に対してどのように推進していくべきかについて、皆様のお立場からご意見をいただければと思います。</p>
事務局	<p>以前の部署では介護保険や介護・フレイル予防に携わっていましたが、若いうちから健康に意識を持っていただくことで、健康寿命の延伸や介護予防にもつながると考えております。</p> <p>壮年期、中年期の方が主体的に、かつ楽しみながら健康に意識を向けていただくためのアプローチについて、ご意見をいただければと思います。</p>
座長	<p>今回、我々の課題が2つ明確になったと思います。</p> <p>まず、職域と連携して取り組みを評価できる仕組みが必要だということ、何をどう取り組むかのつながりについて説明不足の部分がありましたので伝わって活動していただけるよう努めないといけないということです。</p>
委員	<p>包括支援センターで高齢者の方の支援をしております。健康は早いうちから取り組むことが大事だと感じております。</p> <p>例えば、中学生のお子さんのご両親の世代、子育てと介護の狭間にいる方へ向けた健康づくりについて普及していくのがよいと感じております。</p> <p>生活習慣病の項目で飲食店の協力による減塩・野菜摂取の促進とありますが、大手飲食店でも糖質オフのメニュー等が販売されています。市として、スーパーマーケットとのコラボ等の取り組みは考えていらっしゃいますか。</p>

事務局	<p>飲食店の協力による減塩・野菜摂取の促進については2つ取り組みがございます。1つは健康応援店です。個人経営の飲食店の方に、ごはん少なめメニューや野菜たっぷりメニューを提供している飲食店を登録してポスターやステッカーを掲示していただいたり、登録店をホームページやSNSを通じてご紹介しています。</p> <p>また、年度によりますが、スーパーアルプスや東京家政大学と連携した健康に配慮したお弁当の販売やスーパーアルプスと味の素と連携したレシピを作成して配布するなどの普及啓発を行っております。</p> <p>中学校ではなにか取り組みはございますか。</p>
委員	<p>がんに関する知識の普及啓発の項目について、各学校でがん教育について取り組んでいます。予防、健診の大切さを伝え、子どもたちからご家族へ広げていただきたいと思っております。また、がん患者の方が身近にいる場合の接し方についても伝えていきます。</p>
委員	<p>中年期、壮年期の働いている方向けの普及啓発としては、エンドユーザーより事業所の経営者の方へ働きかけていくことがより効果的なのではと思います。特に従業員が50人以下の事業所は産業医も不在で衛生委員会の義務もないため、経営者や担当者への普及啓発として健康経営セミナー等の実施をしてはいかがでしょうか。経営者同士がネットワークづくりを行える取り組みも良いと思います。</p> <p>また、今は健康経営の考え方が広まっているため、事業所が認証制度を取得するためのサポートや、認証を取得した事業者への八王子市独自のメリットの提供等の支援も有効な手段ではないかと存じます。</p>
委員	<p>歯科検診について、年齢層・対象を拡大することが重要と考えております。現在、市で40代～70代の歯周病健診を行っていますが、20代～30代の方が抜けています。その年代から健診を受けていただくと重症化も防げると思うので、その年代を対象とした歯科事業があるとよいと思います。</p> <p>また、現在、後期高齢者歯科健診が行われておりますが、76歳と80歳に限定されております。今後は、後期高齢者全ての方に拡大すべきだと思います。さらに、在宅要介護者等に対する訪問歯科健診の実施もできれば良いと思います。</p>
座長	<p>かかりつけ歯科を持っている方は定期的に健診をしている方が多いので、かかりつけ歯科医を持っていただけるように、市からも働きかけていきたいと思っております。</p>
委員	<p>八王子市は自殺率が高いというお話でしたが、3月と9月の自殺予防月間における普及啓発品の配布等の取り組みをされていると思いますが、さらに充実を図る等の検討はされていらっしゃいますか。</p>
副座長	<p>八王子市の10代、20代、30代の死因の第一位は自殺です。八王子市に限った話ではありませんが、若い年齢層の方は自殺が多い傾向がございます。</p> <p>昨年から取り組んでいることとして、若い方が情報をどこから得るか、という点に着目し、インターネットで自殺に関連した言葉を検索した方へ、こころの相談窓口に関する案内が表示されるようにいたしました。</p> <p>また、普及啓発品を配布していますが、必ずしも対象の方に届くわけではありません。広報を読まないという方も増えている中で、本当に困っている方に情報が届くよう努めてまいりたいと思っております。</p> <p>また、大学と連携し、授業で取りあげていただいておりますが、なかなか効果が出ていないのが実情です。</p>

座長	<p>こころの健康について、にも包括という「精神障害の方にも対応した地域包括ケアシステム」がごございます。八王子市では、はちまるサポートという地域の相談窓口があり、重症化しないよう重層的な支援を行っております。</p>
委員	<p>薬剤師会としては、市民の方のための健康スポットとして薬局を活用いただければ幸いです。処方箋をお持ちでなくても、避暑地として立ち寄っていただいてもかまいません。</p>
委員	<p>子どもの時から健康的な生活を心掛けられることも大切だと思います。 例えば子どもが外で遊びたくなるような魅力ある公園整備や、ボール遊び禁止の場所も増えているので、社会全体が子供のことを想っておおらかになっていけるような視点を取り入れていただきたいと思います。</p>
委員	<p>様々な普及啓発が行われていることを知り、勉強になりました。同時にこうした活動について周知していけるよう、私自身も努力してまいりたいと思います。 また、イベントは子どもや家族と一緒に参加できると、より足を運びやすくなると思いますので、そういった取り組みを考えていけたらと思います。 ただ、前回の会議において前会計年度分の評価を公表されましたので、前回行った取り組み事案等をご紹介いただけると改善点等を検討できるのではと感じました。</p>
委員	<p>今回様々な分野の方からのお話を伺い、いろいろな取り組みをされていることを知りました。これから具体的なお話を聞かせていただき、意見等していけたらと思います。 また、健診について、毎年受診する方は限られるように感じます。一人でも多くの市民が健診を受けられるよう、土日や夜間にも健診可能な体制づくりや市民センターや駅前のビルでの集団検診の実施等、受診環境の整備を行っていただきたいと思います。 さらに、検査に異常があっても医療費の支払いが厳しい方もいるので、初診料の一部補助の特典を設けるのはいかがでしょうか。 健康格差についても日々感じているところです。健康教育を十分に受けることが難しい子どものために、子ども食堂で健康指導を行う等の支援も検討をお願いします。</p>
委員	<p>八王子市は健康医療計画に力を入れており、その成果などを知ることができて良かったと思います。ただ、議事について、何を理解してほしいのか、何を求められているのかがわかりづらかったので、表現等工夫していただけたらと思います。 また、心身ともに健康を保つためには食が大事であることを、子どもの頃から意識してほしいと感じています。給食等を通して、小学校や中学校で伝える時間があれば良いと思います。 また、私自身中学生の子供を持つ親なので、自分自身も健診に行かなければと感じました。</p>
委員	<p>中年期、壮年期の方は時間がないため、広く伝えるためにLINE等を活用したらよいと思います。ただ、内容が固いため、もう少しやわらかく伝わりやすい形にすると読んでいただけるのではと感じました。</p>
委員	<p>ライフステージのうち高年期の対策として、健康寿命の延伸にさらに重点的に取り組んでいく必要があると考えます。</p>

<p>座長</p>	<p>特に、フレイル予防として、高齢者の社会参加機会の充実について、地域福祉計画と連携し、各種ボランティア団体や地域組織等の位置づけ、活動内容等を踏まえながら、より多様な具体策の検討を進めていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。今回の会議では議論の進め方等についてもご意見いただきましたので今後工夫していきたいと思ひますし、委員の皆様と協力しながら進めていけたらと思ひております。</p> <p>それでは予定していた議事が終了しましたので、進行を事務局に戻します。</p>
<p>今後のスケジュールについて</p>	
<p>発言者</p>	<p>内容</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。資料及び報告内容と、テーマの結びつきがわかりづらいところがあり、議論のかじ取り等、委員の皆様にも助けていただきありがとうございました。</p> <p>前回からの評価を新しい計画に引き継いできたところの1つが、無関心層へのアプローチです。私の今の思ひとして、働き盛りの方へどう意識していただくかをテーマにしたいと思ひておひまして、現在協会けんぽと意見交換をさせていただいたり、商工会議所で企業の状況を伺ったところでもありまして、今回の議事と致しました。</p> <p>今後のスケジュールについては流動的ではありますが、健康経営や職域連携の取り組みについて、進捗状況次第ではまたお集まりいただく可能性もござひますし、分野を絞り、部会的に開催させていただくことも検討しております。</p> <p>ただ、本会議は健康医療計画の進行管理を行うため、基本的には今年度はこちらで終了とし、今年度の成果について次年度評価をいただく形となります。</p> <p>以上で、事務局からの説明とさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございました。</p>

※本議事録では、会議開催後に各委員から提出いただいた追加の意見を当該委員了承のうえ、発言箇所に反映しています。